

平成28年度図書館利用者と館長との懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)～

【対応状況・凡例】

- ◎ すでに対応している項目
- 早急に対応を行う項目
- 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目
- 対応が困難な項目

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	道に図書館の看板の設置を検討してほしい。駅前だけでもいい。場所が分かりづらい。	他部署との調整が必要であり、設置場所によっては、困難な場所もあります。年1回、施設誘導板設置の調査があり、そこで要望を出しますが、新施設優先となり、既存施設の設置については難しい状況です。	□
2	図書館周辺の道に名前をつけてはどうか。「〇〇の道」や「〇〇通り」など、道案内する際に分かりやすくなると思う。	大変貴重なご意見ですが、現状では困難です。	—
3	以前から環境ワークショップの回数が減っている。予算が削られたのか。	青少年や多言語・多文化等の事業を増やしたため、事業の回数や内容など、全体のバランスを考えて実施しています。予算が減ったということではありません。	□
4	海外の図書館サービスの事例を見ると、アクティブラーニングの実施事例がある。国内はまだ少ないが、南田中でもぜひ実施してほしい。	「ミナミタナカ物語」がそれにあたる事業と認識しています。新しい事業としてさらに取り組んでいきます。	◎□
5	中学校の部活動はスポーツ系が多く、文化系が少ない。スポーツが苦手な子もいるため、図書館での読書委員会など、青少年が活動できる場としてはどうか。また、ねりま放送などに出演するなど、しかけをつくれば参加者が集まるのでは。	「ユースサポーターin Minamitanaka」を正式に立ち上げ、2か月に1度活動していますが、メンバーがなかなか集まらないのが現状です。ご指摘のとおり、メディアを使った広報は効果的と考えますので、積極的に取り組んでいきます。	○

※練馬区立図書館全体に関する質問、意見等については、別項「図書館全体に関する意見、意見の概要」にまとめました。